

# 令和 8 年度 佐世保市当初予算の概要

令和 8 年 2 月

佐世保市

## 予算編成の基本方針

令和8年度は、総合計画(後期基本計画)の3年目にあたり、これまでの実施状況を踏まえた効果の最大化を目指す段階に入っており、施策の成果にコミット(「責任を果たす」「結果を出す」「約束を守る」)していく年となります。

予算編成にあたっては、部局の経営方針に基づき、改革・改善の実現により、限られた行政資源(ヒト・モノ・カネ・情報)を有効活用し、常に「市政に関する経営感覚とコスト意識」を持ち、行政資源の最適な配分に努め、新年度予算を作り上げていくこととしました。

特に、こどもまんなか推進会議、次代のまちづくり推進会議での議論を踏まえたシティブランディング・プロジェクトについては、「静かなる有事」とも言える人口減少という喫緊の課題に取り組むべく、確実な事業の推進が求められています。令和7年10月に策定した「令和7年度中期財政計画」では、令和8年度収支において市税収入の増等歳入を一定見込んでいますが、今後の経済情勢によっては、物価高騰による扶助費や物件費の増、更なる金利の上昇による公債費の増が想定されるなど、予断を許さない状況にあります。

こうした認識のもと、限られた経営資源の中で、政策を実現させるには、抜本的かつ徹底的な行財政改革に取り組むことに加え、事業の優先度に応じた選択と集中を行うとともに、費用対効果の観点から、不断に事務事業を見直すことにより、予算の「質の向上」に取り組んでいかなければなりません。これらを踏まえ、令和8年度予算編成にあたっては、以下の基本方針を定めました。

1. 「人口減少」という政策課題を解決するため、シティブランディング・プロジェクトを展開する
2. 県や部局間の連携を強化し、相乗効果を生み出すことで「効果の最大化」に繋げる
3. 官民共創によるオール佐世保の視点で、積極的に新たな取り組みを取り入れる
4. EBPMによる理論構築に努め、適宜適切に説明責任を果たすことにより市民の理解の促進を図る
5. 賃金・物価・金利が上昇する中、市民目線、市民の立場に立った施策を展開すること
6. 行財政改革(歳入・歳出両面からの収支改善策)を遂行し、財政の健全性を堅持すること

## 令和8年度当初予算の概要

(以下、数値の比較は令和8年度当初と令和7年度当初との対比によります。)

### 「未来に踏み出すステップへ 明日への扉を拓く予算」

一般会計予算は、**過去最大規模の1,338億7,730万円**で、総合計画(後期基本計画)に掲げる取組の推進に加え、賃金・物価上昇の影響が長期化していることから、水道基本料金4か月分の減免など、令和7年度と一体となった生活者・事業者支援として実施する「佐世保市物価高騰対応経済対策」や、俵ヶ浦地区港湾施設整備事業費の増などに加え、賃金・物価上昇への対応や、上下水道線出金、障がい者自立支援費をはじめとする扶助費の増加などにより、**前年度当初予算に比べ2.7%の増**となっています

特別会計は**1,014億4,467万円**で、競輪事業特別会計における車券売上金や、国民健康保険事業や介護保険事業の給付費の増などにより、**前年度当初予算に比べ14.8%の増**となっています。

企業会計は**246億9,906万円**で、水道事業会計における事業費の増などにより、**前年度当初予算に比べ5.7%の増**となっています。

このことにより、本市の予算総額は **2,600億2,103万円**となり、**前年度当初予算に比べ7.4%の増**となっております。

新年度当初予算の特徴といたしましては、総合計画(後期基本計画)の3年目となることを踏まえ、本計画に掲げるまちづくりの実現に向け、本市が持つ多様な資源を活用し、本市の可能性や魅力を最大限活かし、未来を先取る取組みに挑戦したいと考えていることから、「“選ばれるまちSASEBO”をつくるシティブランディング・プロジェクト」の始動に関連する38事業に**36億5,148万円**を計上(13～16ページ参照)しています。

また、人口が減少するなか行政サービスや行政のあり方そのものに対する変革の視点を持ち、着実に実行に移していくことが必要不可欠であることから、「佐世保市DX戦略」に基づく、DX戦略関連事業(23～24ページ)を実施することとしております。

なお、DX戦略におけるリーディング事業については、総合計画(後期基本計画)でもKPIとしている標準財政規模の10%を超えて保持する財源調整2基金を活用しながら実施していくこととし、令和8年度は11事業、1億3,447万円を計上しています。

(1) 一般会計は35.8億円(2.7%)の増となっており、主な増減は下記のとおりです。

物価高騰対応経済対策の増	9.5億円
水道基本料金減免のための繰出や、地域通貨発行事業費の増などにより	
公共事業費の増	8.0億円
道路改良事業費(前畑崎辺道路整備ほか)の減があったものの、港湾施設整備事業費(俵ヶ浦港湾施設整備ほか)の増などにより	
水道料金改定に伴う激変緩和のための繰出金の増	5.1億円
社会保障関係費などの増	4.7億円
障がい者自立支援費などの扶助費の増などにより	
職員給与費の増	4.1億円
令和7年度給与費改定などにより	
長崎国際大学理工系学部設置支援の実施	3.2億円

性質別歳出の主な増減は下記のとおり

繰出金の増	上下水道事業繰出金の増など	18.9億円
普通建設事業費の増	港湾施設整備費の増など	8.0億円
貸付金の増	中小企業融資の増など	7.1億円
物件費の減	自治体情報システム標準化の減など	7.0億円
扶助費の増	障がい者自立支援費の増など	6.5億円

(2) 特別会計は、130.9億円(14.8%)の増となっており、主な増減は下記のとおりです。

(ア)	競輪事業特別会計の増 車券売上金の増など	130.2億円
(イ)	住宅事業特別会計の減 住宅建設費の減など	9.2億円
(ウ)	港湾整備事業特別会計の減 大型荷役機械購入費の減など	8.2億円
(エ)	病院資金貸付事業特別会計の増 医療機器購入に伴う貸付金の増など	5.9億円
(オ)	国民健康保険事業特別会計の増 保険給付費の増など	3.9億円

(3) 企業会計は、13.2億円(5.7%)の増となっており、主な増減は下記のとおりです。

(ア) 水道事業会計の増	19.4億円
資本的支出における事業費の増など	
(イ) 下水道事業会計の減	6.1億円
資本的支出における事業費の減など	

## 一般会計予算の概要

### 1 財政

#### (1) 収支

財源調整としての基金繰入金（財政調整基金・減債基金）

R 8 34.4 億円

R 7 29.6 億円

令和8年度は、単年度収支不足の財源調整分25億円に加え、「佐世保市DX戦略」の中で特に分野横断的な展開が期待できる先進的なリーディング事業を推進するために、標準財政規模の10%を超えた部分を活用して1.3億円、さらに水道料金改定に伴う激変緩和のための繰出金の財源として5.1億円を繰り入れています。

なお別途、施設整備基金から、公共施設保全のほか施設再編事業等の財源として11.3億円を繰り入れています。

財源調整2基金の年度末残高見込

R 8 90.7 億円

R 7 96.0 億円

（特殊要素を除いた残）

R 8 66.5 億円

R 7 68.0 億円

財源調整2基金とは、「財政調整基金」と「減債基金」を指します。

令和8年度末残高には、前年度剰余金見込み25億円の積み立てなどを含んでいます。

## (2) 歳入

一般財源総額	R8 と R7	当初の年間見込み対比
R 8 674.2 億円	R 7	662.0 億円
(当初予算充当 669.2 億円)		(当初予算充当 660.0 億円)

令和 8 年度は、市税において、市民税（個人、法人ともに）や固定資産税は増加する見込みとなっており、税制改正（環境性能割の廃止等）の影響で軽自動車税等の減があるものの、前年度比 2.3% 増の 311.0 億円となりました。

一方で、地方交付税は前年度比 4.6% 減の 263.0 億円となり、また、臨時財政対策債は、令和 7 年度に引き続き発行しないこととなりました。

なお、地方消費税交付金は、消費動向や物価高騰の影響などにより、前年度比 21.4% 増の 74.1 億円を見込んでいます。加えて、地方特例交付金については、税制改正（環境性能割の廃止等）に伴う減収の補填などにより、1.1 億円の増額となっています。

こういったことから、一般財源総額の見込みは、1.4%、9.2 億円の増となっています。

### 地方債

発行額	R 8	61.1 億円	R 7	55.6 億円
地方債依存度	R 8	4.6%	R 7	4.3%
年度末残高見込	829.0 億円	うち臨時財政対策債	265.0 億円	
	(前年度末残高見込	859.0 億円	うち臨時財政対策債	302.5 億円)

公債費元金償還金（90.8億円）から市債発行額（61.1億円）を差し引いたプライマリーバランスは29.7億円の黒字であり、市債の年度末残高はその分だけ減少します。

実質的な赤字地方債である臨時財政対策債の残高は、前年度より37.5億円減の265.0億円となり、市債残高の32.0%を占めています。

### (3) 歳出

#### 「目的別」の状況

「総務費」では、基幹系業務システム標準化の開発経費（1.8億円）が減となったものの、長崎国際大学理工系学部設置支援補助金（+3.2億円）や、アーバンスポーツ施設の整備費（+1.6億円）などにより、2.4億円の増となりましたが、他の経費が増となっているため構成比は0.2ポイントの減となっています。

主に社会保障分野である「民生費+衛生費」では、障がい者自立支援給付費（+8.6億円）、上下水道事業会計への繰出金（+16.5億円）の増などにより、合わせて27.9億円の増、構成比は0.7ポイントの増となりました。

なお、水道事業繰出金には物価高騰対応経済対策としての水道基本料金の減免にかかる繰出金（+9.1億円）が含まれています。その他、物価高騰対応経済対策としての主な増要因として、「商工費」における地域通貨発行事業費（+3.5億円）があります。

主に公共事業分野である「農林水産業費＋土木費＋港湾費」では、港湾費の俵ヶ浦地区港湾施設整備事業費（＋１１．０億円）の増があったものの、土木費の道路新設改良費（－１２．８億円）が前畑崎辺道路整備事業費の減などで減少したため、０．７億円の減、構成比は０．４ポイントの減となりました。

「教育費」においては、スポーツに係る経費が総務費に移行したことによりスポーツ施設整備事業費（－１．３億円）が減となったほか、立神広場整備活用事業費（－１．７億円）の減や、小学校就学援助費（－１．２億円）が減となったことなどにより、８．２億円の減、構成比は０．９ポイントの減となりました。

### 「性質別」の状況

「物件費」において、自治体情報システム標準化・共通化費（－３．２億円）や予防接種費（－２．５億円）の減などにより、７．０億円の減、構成比は１．０ポイント減となりました。

「普通建設事業費」は、前畑崎辺道路整備事業費の減（－１１．６億円）の減があったものの、俵ヶ浦地区港湾施設整備事業費（＋１１．０億円）や、伝統産業会館等管理運営事業費（＋３．５億円）、児童発達支援センター（＋２．４億円）の整備費、消防車両の購入費（＋２．２億円）等の増があったため、８．０億円の増、構成比は０．３ポイント増加しています。

なお、「義務的経費」は、人件費（＋４．１億円）、扶助費（＋６．５億円）、公債費（＋０．１億円）が増加したものの、他の経費が増となっていることから構成比は０．７ポイント減少しました。

なお、「扶助費」を含む「社会保障関係費」の状況については、児童手当・児童扶養手当（ 1.9 億円）や予防接種費（ 2.5 億円）が減となったものの、障がい者自立支援事業費（+ 8.6 億円）が増となるなど、総額は前年から 4.7 億円の増となっております。

#### 目的別の状況（構成比）

	8 年度	7 年度
総務費	10.7%	10.9%
民生費 + 衛生費	51.3%	50.6%
民生費	40.6%	40.8%
衛生費	10.7%	9.8%
農林水産業費 + 土木費 + 港湾費	11.5%	11.9%
教育費	8.3%	9.2%

#### 性質別の状況（構成比）

	8 年度	7 年度
物件費	15.3%	16.3%
普通建設事業費	10.6%	10.3%
義務的経費	52.9%	53.6%
(人件費、扶助費、公債費)		

## 2. 予算編成における改革改善について

### (1) 歳出面の改革改善

	(単位：億円)	
	事業費	(うち一般財源)
<b>(A) 令和7年度 当初予算額</b>	1,302.95	(715.19)
重点・シフト・ランディングPJなどにおける新規・拡大	17.82	(6.73)
シーリングによる削減	2.68	( 2.68)
デジタル化に伴う業務改善	0.38	( 0.38)
行革推進計画(第6次・7次)による削減	1.79	( 1.79)
物価上昇・賃金の上昇等の影響を反映	2.47	(2.47)
事業の終了	13.56	( 6.48)
その他の増減(自然増減など)	33.94	(14.50)
計( ~ )	35.82	(12.37)
<b>(B) 令和8年度 当初予算額</b>	1,338.77	(727.56)
前年度予算からの比較 (B) - (A)	35.82	(12.37)
(B) / (A)	2.7%	1.7%

### (2) 歳入面の改革改善

	(単位：億円)	
<b>令和8年度当初予算における改革改善効果額</b>	23.6	( 84件)
基金繰入(減債基金)	0.4	( 1件)
基金繰入(施設整備、合併市町村振興、元気基金)	19.2	(82件)
競輪事業収入(競輪事業益金)	4.0	(1件)

# 令和8年度 シティブランディング事業一覧

(単位：千円)

	担当部局	区分	取組名	概要	事業費
<b>子育て(こども・子育て応援プログラム)</b>					<b>1,524,550</b>
1	子ども未来部	継続	第2子以降の保育料無償化	第2子以降(1・2歳児)の保育料及び第2子以降の副食費の無償化を行い、子育て支援及び保護者の経済的負担軽減を図るもの。	261,089
	教育委員会	拡充	学校給食費無償化	市立小中学校に通う児童生徒にかかる給食費の無償化、私立小中学校等に通う児童生徒にかかる給食費相当額を助成し、子育て支援及び保護者の経済的負担軽減を図るもの。	1,135,389
3	子ども未来部	継続	18歳までの医療費補助制度の確立	高校生世代にかかる医療費を現物給付(一部償還払い方式)により助成することで、子育て支援及び保護者の経済的負担軽減を図るもの。	112,214
4	子ども未来部	継続	不妊に悩む方への特定治療支援事業	特定不妊治療における先進医療にかかる費用や、通院のための交通費について、その一部を助成することで、不妊に悩む方々の経済的負担の軽減を図るもの。	9,263
5	子ども未来部	新規	子どもの居場所づくりの推進	子どもの居場所づくりにかかる先進事例の調査・研究等を行うことで、今後の子どもの居場所について検討を行うもの。	441
6	都市整備部	継続	子育て応援住宅支援	中古住宅の取得にかかる費用の一部を助成し、子育て世帯の住環境向上及び中古住宅の流通促進、空き家の発生抑制を図るもの。	6,154
<b>産業(グローバル産業育成プログラム)</b>					<b>872,025</b>
7	経済部	継続	させばeコインの活用	させばeコインを活用し、決済時にポイント還元を行うことで、市内の店舗等における消費促進を図るもの。	491,550
8	経済部	継続	イノベーションリーダー育成プログラム	若年層を中心とした起業希望者や第2創業希望者を対象としたセミナー等を開催し、起業への理解促進やビジネスプランのレベルアップを図るもの。	8,986
9	経済部	継続	外国人活用促進	外国人の受け入れ等に関する課題や対策を共有する協議会の開催や、受入環境の整備等にかかる支援を行うことで、外国人起用への意識醸成を図るもの。	5,600
10	市民生活部	拡充	女性活躍推進	女性活躍応援宣言登録事業所の拡大を図るとともに、事業所や関係団体と連携しながら女性が働きやすい職場・活躍できる職場の創出を図るもの。	6,451

# 令和8年度 シティブランディング事業一覧

(単位：千円)

	担当部局	区分	取組名	概要	事業費
11	経済部	新規	地域人材確保・定着促進事業	中学生を対象に企業見学ツアーを実施し、その内容をデジタルブックとして作成し市内全中学生へ配信することで、市内企業に対する関心を高め、将来的な地元定着への意識醸成を図るもの。	2,000
12	教育委員会	継続	少年科学館ふるさと教育	企業からの協賛金を活用し、児童生徒の理科学習等の充実を図るもの。	3,400
	企画部、経済部	新規	長崎国際大学理工系学部設置支援事業（産学官連携機能の構築）	人口減少対策および産学官連携機能の構築にかかる取組として、長崎国際大学において計画されている理工系学部（情報学部）の新設に伴う費用の一部を助成し、若年人口の流出抑制および地元への定着を図るもの。	315,900
14	農林水産部	継続	新たな養殖業の推進	陸上養殖を行う市内事業者に対し、施設・設備の整備に対する支援を行うとともに、陸上養殖に関する知見の収集のための試験養殖、先進地視察等を行い、陸上養殖の普及推進を図るもの。	5,116
15	経済部	継続	魅力ある雇用の場創出	市外企業の誘致活動と立地企業へのアフターフォローに取り組み、新たな企業の立地と雇用ならびに追加投資の創出を目指すもの。	16,976
	基地政策局	継続	基地経済調査研究事業	地元企業の防衛関連産業の受注拡大に向けたビジネスモデル等の検討および防衛関連企業や研究機関の誘致も視野に入れた先端技術等の調査研究を行い、防衛関連産業の振興を目指すもの。	6,084
	経済部	新規	防衛関連企業の生産基盤及び供給網の強化	市内防衛関連企業の掘り起こしを行い、県外企業や関係省庁とのマッチングにつなげるもの。また、防衛関連企業の技術力向上支援や造船人材確保に向けた取組を実施し、防衛関連産業の振興を目指すもの。	9,962
<b>地域資源（オンリーワン価値創造プログラム）</b>					<b>920,369</b>
	経済部	拡充	ハウステンボス連携事業	ハウステンボスとの連携を強化し、ハウステンボスから市内への周遊促進を図るもの。	31,018
19	経済部	継続	九十九島食の拠点化事業	九十九島（夕景）×クルーズ×食を組み合わせた観光コンテンツ造成を支援し、九十九島観光の磨き上げを図るもの。	2,499
	経済部	拡充	日本遺産活用推進事業	「鎮守府」の日本遺産認定10周年記念事業として、旧軍港4市と連携したグルメ交流会やクルーズサミット等を実施するもの。	7,000

# 令和8年度 シティブランディング事業一覧

(単位：千円)

	担当部局	区分	取組名	概要	事業費
21	港湾部	継続	(特別会計)三浦地区のみなとまちづくり	「三浦地区のみなとまちづくり事業」を推進し、観光拠点と港湾施設の両面で機能が充実したエリア形成を図るもの。	331,331
22	港湾部	継続	(特別会計)浦頭地区交流拠点整備	佐世保クルーズセンターにおいて、臨港道路の照明設備整備を行うとともに、ターミナル周辺の魅力向上に資する環境を推進するもの。	43,000
23	経済部	<b>新規</b>	戸尾市場リブランディング	「戸尾市場」を地域住民並びに観光客でにぎわいのあるスポットとするため今後の利活用に向けた安全性の確保に資する構造物調査等を実施するもの。	6,000
	企画部	継続	俵ヶ浦半島全体の自然観光公園化	九十九島観光公園をはじめとした公有施設の活用を含む俵ヶ浦半島全体の振興に向け、その基本方針である「俵ヶ浦半島マスタープラン」を策定するもの。	23,842
25	経済部	継続	北九十九島エリア滞在型観光のブランディング	北九十九島エリアの魅力向上と活性化を目的として、エリアがもつ歴史的建物、自然景観、地域に根付く文化や人々の暮らしを含めた魅力を情報発信し、エリア全体のブランディングを図るもの。	2,000
26	経済部、港湾部	継続	クルーズ客船誘致・受入推進、寄港地観光	世界のクルーズ船社へのポートセールスおよび官民連携の二次交通対策や寄港地観光施策を実施し、本市への寄港数の増加、クルーズ寄港時における域内の経済波及効果の獲得を図るもの。	146,261
27	経済部	継続	訪日外国人誘致事業	東アジア(台湾・香港・韓国等)および東南アジア(タイ)に向けたプロモーションを実施し、本市の訪日誘客の拡大を図るもの。	9,887
28	都市整備部	継続	まちなかウォークアブルの推進	「居心地が良く歩きたくなる」まちなかづくりを目指し、夜店公園通りにおいて公民連携による社会実験や公共空間デザインワークショップ等を基に公園の改修を進め、エリア全体の賑わい創出・価値向上や民間投資の促進に繋げるもの。	112,175
	経済部	<b>新規</b>	食の拠点整備支援事業(九十九島テロワール)	官民連携による食の拠点をまちなかへ整備し、創業希望者・若手料理人が新メニュー開発やイベントを行い地域食材の付加価値向上・ブランド化を進め、食を目的とする観光誘客を図るもの。	24,000
30	経済部	<b>拡充</b>	地場産品振興におけるシティプロモーションの展開	本市の物産品等を中心としたシティプロモーションを展開し、本市の知名度とふるさと納税寄附額向上を図るもの。	166,356
	地域未来共創部	<b>新規</b>	高島地域宿泊施設整備支援事業	高島活性化コンベンション協会ESPOが実施する宿泊施設整備にかかる経費の一部を支援し、高島における地域資源を活かした持続可能な地域づくりと体験滞在型観光の充実を図るもの。	15,000

# 令和8年度 シティブランディング事業一覧

(単位：千円)

	担当部局	区分	取組名	概要	事業費
<b>文化(シビックプライド醸成プログラム)</b>					<b>334,539</b>
	地域未来共創部	<b>拡充</b>	若者活躍推進	若者活躍プロジェクト活動費補助金制度や若者活躍評価イベント等を実施するほか、若者活躍支援組織(仮称)を設立し、次の世代を担う人財の創出を図るもの。	18,134
33	教育委員会	継続	ふるさと未来事業	子どもたちの体験学習(アイデアソン、工場見学、研究機関との共同研究、多様な人材との交流)を実施し、子どもたちの探究心と課題解決力の向上を図るもの。	11,000
34	地域未来共創部	継続	宇久高校離島留学	長崎県立宇久高校の離島留学制度について、受入環境の整備や経済的支援を実施するとともに、県市連携により取り組んでいくもの。	7,157
35	文化スポーツ部	継続	ピース文化祭2025レガシー事業	ピース文化祭2025で構築した文化団体との繋がりを継続した佐世保独自の文化イベントを実施し、本市の文化振興やまちの賑わい創出を図るもの。	42,005
	文化スポーツ部	継続	アーバンスポーツ推進	スケートボードや3×3など、佐世保らしいアーバンスポーツを推進するための拠点となる施設を整備し、新たなスポーツの魅力発信と地域活性化を図るもの。	168,011
	文化スポーツ部	継続	ツール・ド・九州開催	ツール・ド・九州2026佐世保クリテリウムを開催し、中心市街地の賑わいを創出するとともに地域活性化を図るもの。	76,732
	文化スポーツ部	<b>新規</b>	スポーツによるシティプロモーション	V・ファーレン長崎と連携したシティプロモーションを実施し、本市の知名度やイメージの向上を図り、本市のブランド力を強化するもの。	11,500
合 計					<b>3,651,483</b>

# 令和8年度 第7次総合計画（後期基本計画）分野ごとの主な事業一覧

（単位：千円）

	担当部局	区分	事業名	概要	事業費
<b>ひと</b>					<b>31,258,949</b>
1	子ども未来部	<b>拡充</b>	育児等健康支援事業	出産前後の家庭に対して家事や育児支援を行う『産前産後家事・育児支援』や従来のマタニティ学級とプレパパ学級を融合した『ウェルカムベビークラス』などを実施し、育児不安の解消を図るもの。	11,139
2	子ども未来部	継続	保育士等体制強化事業	加配保育士および配膳・清掃等の保育周辺業務を行う保育支援者の配置にかかる経費を支援し、保育士の業務負担軽減および離職防止を図るもの。	13,321
3	子ども未来部	継続	乳児等通園支援事業	『こども誰でも通園制度』を実施することで、保育所等に通っていない乳幼児の遊び場の提供および保護者支援を図るもの。	9,159
	子ども未来部	<b>新規</b>	子ども・子育て官民連携事業	子育てに関するホームページをリニューアルし、SNS等と合わせた分かりやすく効果的な情報発信を行うことで、子育て支援サービスの利用促進および利便性の向上を図るもの。	10,190
5	教育委員会	<b>拡充</b>	教育用パソコン経費、教育用パソコン整備費	『スマートスクールSASEBO構想NEXT』に基づき、小・中学校児童生徒の1人1台端末をリプレースし、AIドリルや動画教材などの更なる活用を促進することで、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的充実を図るもの。	321,956
6	教育委員会	<b>拡充</b>	中学校体育推進事業	国および県が進めている部活動改革について本市の在り方について検討し、部活動における地域展開の本格実施に向けた取組を進めるもの。	43,587
7	教育委員会	<b>拡充</b>	いじめ・不登校対策事業	校内教育支援センターの設置校および支援員を拡充し、誰一人取り残されない学びの保障を図るもの。	39,421
8	教育委員会	<b>新規</b>	学校教育行政一般費	教育委員会事務局へ新たに「学校問題解決支援コーディネーター」を配置し、学校だけでは解決が難しい事案等の解決に向けてサポートすることで、教員の負担軽減を図りつつ、よりよい問題解決の体制整備を図るもの。	23,717
	教育委員会	継続	小学校施設整備事業	老朽化した学校施設の改築・改修事業や「佐世保市学校再編計画」に基づく学校再編に伴う整備事業、学校施設（屋内運動場）の空調整備に必要な調査設計などを行うもの。	335,508
	教育委員会	継続	中学校施設整備事業	老朽化した学校施設の改築・改修事業や学校施設（屋内運動場）の空調整備に必要な調査設計などを行うもの。	89,174
11			その他		30,361,777

# 令和8年度 第7次総合計画（後期基本計画）分野ごとの主な事業一覧

（単位：千円）

	担当部局	区分	事業名	概要	事業費
<b>しごと</b>					<b>50,513,041</b>
12	経済部	継続	観光地域づくり推進事業	国内外の観光客に選ばれる観光地域づくりとブランドの磨き上げを行うとともに、北九十九島エリアの歴史的建物や自然、人の魅力を活かした拠点づくりを図るもの。	94,023
13	経済部	新規	戦略産業推進プロジェクト事業	企業の人材育成・確保に資する取組を支援するほか、市内防衛関連企業の掘り起こしを行い、県外企業や関係省庁とのマッチングにつなげるもの。また、防衛関連企業の技術力向上支援や造船人材確保に向けた取組を実施するもの。	12,765
14	経済部	継続	企業誘致活動事業	本市への企業誘致活動を行い、新たな企業の立地に伴う魅力ある雇用環境の創出を図るもの。	15,659
15	経済部	継続	ふるさと納税推進事業	ふるさと納税制度を活用し、全国へ本市の特産品等の知名度と販売額の向上を図るもの。	1,616,845
	経済部	新規	（特別会計）競輪開催費	年間を通じて、佐世保競輪場でレースを開催し、収益の確保を図るもの。また、令和8年度は佐世保競輪場のメインスタンド完成に伴いG 女子オールスター競輪を開催するもの。	36,187,573
17	農林水産部	継続	養殖業育成事業	赤潮を早期に発見するための監視機器を設置し漁業被害の低減を図るほか、陸上養殖を行う市内事業者への支援などを行い、陸上養殖の普及推進を図るもの。	8,180
18	農林水産部	継続	水産センター機能強化事業	マガキ3倍体の増産に寄与する多目的生産棟の新設を行うことで、高付加価値種苗の研究開発による養殖業の振興および連携市町を含めた栽培漁業の拠点的役割を担うもの。	75,011
19	農林水産部	継続	種苗生産事業	種苗生産を行い、放流および養殖用種苗を供給することで漁業資源の維持・増大を図るもの。マガキの生産については、従来種（2倍体）から、高水温に強く安定した身入りがあり高付加価値化が期待できる3倍体への切替により増産を図るもの。	45,624
	農林水産部	新規	（特別会計）水産市場施設整備費	漁業者の荷揚げ効率化を図るため、計量・魚箱供給を自動化した省人化機能を持つ「魚類自動選別機」を導入するもの。（令和10年度導入予定）	1,103
21			その他		12,456,258

# 令和8年度 第7次総合計画（後期基本計画）分野ごとの主な事業一覧

（単位：千円）

	担当部局	区分	事業名	概要	事業費
<b>まち</b>					<b>46,711,839</b>
22	都市整備部	継続	都市公園ストック再編事業	公園施設の老朽化が進行するなか、既存の公園を活かしストック効果を高めるため、公園の機能を分担し、様々な使い方ができるように公園の再整備を行うもの。	77,160
23	保健福祉部	新規	水道事業会計繰出金	本年4月から行われる水道料金改定について、2年間段階的に改定幅を抑え激変緩和措置を講じるためなど、水道事業会計に対して一般会計からの繰出しを行うもの。	1,555,577
24	土木部	継続	市内循環確保事業（道路改良）	市道の交通循環の円滑化を推進し、都市機能の維持向上を図るもの。	1,328,585
	環境部	拡充	カーボンニュートラル推進事業	市域全体の温室効果ガス排出量の削減を目標とする「ゼロカーボンシティSASEBOアクションプラン」の策定など、カーボンニュートラルに向けた取組を推進するもの。	34,107
26	環境部	継続	最終処分場建設（拡張）事業	適正な廃棄物処理を継続するため、次期最終処分場の建設を行うもの。	53,319
27	港湾部	拡充	クルーズ客船受入環境整備事業	クルーズ客船の受入拠点となるターミナル等の環境整備を行うことで、利用者の満足度向上を図るもの。	69,627
28	港湾部	拡充	ポートセールス振興業務	世界のクルーズ船社へのポートセールスや寄港地観光施策を実施し、本市への寄港数の増加、クルーズ寄港時における域内の経済波及効果の獲得を図るもの。	141,647
29	港湾部	拡充	プレジャーボート対策事業（港湾）	小型船舶の実態調査結果に基づき、放置艇の移動や撤去など具体的な措置を講じ、小型船舶の適正な係留や港湾施設の秩序ある利用を図るもの。	36,363
30	港湾部	継続	（特別会計）三浦地区みなとまちづくり計画賑わい促進事業	「三浦地区みなとまちづくり事業」を推進し、観光拠点と港湾施設の両面で機能が充実したエリア形成を図るもの。	331,331
31	基地政策局	拡充	基地経済調査研究事業	地元企業の防衛関連産業の受注拡大に向けたビジネスモデル等の検討および防衛関連企業や研究機関の誘致も視野に入れた先端技術等の調査研究を行い、防衛関連産業の振興を目指すもの。	6,084
32			その他		43,078,039

# 令和8年度 第7次総合計画（後期基本計画）分野ごとの主な事業一覧

（単位：千円）

	担当部局	区分	事業名	概要	事業費
くらし					110,506,446
33	市民生活部	拡充	コミュニティセンター管理運営事業	地区コミュニティセンターの管理運営を行うほか、日宇地区および中里皆瀬地区などの支所・コミュニティセンターの再整備を図るもの。	1,044,012
34	市民生活部	継続	防犯活動等推進事業	町内会等への防犯カメラ設置に対する支援および西九州させぼパワーズと連携したLED防犯灯の更新や電灯料にかかる支援を行い、自主防犯の取組の安定化を図るもの。	69,612
35	市民生活部	継続	男女共同参画推進事業	男女共同参画推進センターの管理運営や女性活躍推進の取り組みのほか、第5次佐世保市男女共同参画計画の策定に着手し、男女共同参画社会の実現を目指すもの。	35,828
36	保健福祉部	継続	地域医療推進事業	地域医療構想の実現と医療計画の推進および進捗管理を行うとともに、医療人材を確保し、安心してサービスを受けられる体制維持を図るもの。	109,097
37	保健福祉部	継続	敬老特別乗車証等交付事業	75歳以上の市民を対象に市内路線バスの無料乗車証等を交付し、高齢者の健康増進を図るもの。	489,793
38	保健福祉部	継続	相談支援事業	相談支援従事者に対する助言・技術・人材育成等の支援を行い、相談支援の質の向上および体制の連携強化を図り、障がい者本人も家族も安心できる地域づくりを目指すもの。	74,250
39	文化スポーツ部	拡充	主要文化施設管理運営事業	主要文化施設の適切かつ効率的な維持管理を行うほか、アルカスSASEBOのホール改修時において、文化団体等の活動継続を支援するとともに、市内各所でのアウトリーチ事業を実施するなど、地域の文化活動の維持継続を図るもの。	554,113
40	文化スポーツ部	継続	クラウドファンディング型プロジェクト応援事業（文化）	令和7年度に開催された「ながさきピース文化祭2025」のレガシーをより推進・発展させるため、市民や民間団体による主体的な文化活動を支援し、本市の文化振興やまちの賑わい創出を図るもの。	30,000
41	文化スポーツ部	継続	姉妹都市等交流事業	中学生を中心とした相互の交流を図る青少年交流事業などを実施し、異文化理解および国際感覚の醸成を図るもの。	10,689
42	文化スポーツ部	拡充	渉外一般管理経費	各種国際交流事業や関係団体との連携・支援等を実施するほか、多文化共生にかかる指針等の策定に向けた準備を進めるもの。	4,446
43	文化スポーツ部	継続	スポーツによるまちの活性化事業	アーバンスポーツパークのオープニング事業として「SASEBO STREET MIX」を開催し、新たなスポーツの魅力発信と地域活性化を図るもの。	10,057
44	文化スポーツ部	拡充	運営費（図書館運営事業）	閉館時間の見直しに伴いイベント等のソフト事業を拡充し、図書館サービスの充実を図るもの。	124,069

## 令和8年度 第7次総合計画（後期基本計画）分野ごとの主な事業一覧

（単位：千円）

	担当部局	区分	事業名	概要	事業費
45	消防局	継続	消防庁舎整備費	西消防署宇久出張所・祝橋出張所の移転新築を行い、安定した消防サービスの提供を図るもの。	181,053
46	消防局	継続	消防車両等管理事業（1目・3目）	経年劣化した車両の更新など、車両および装備等の性能を維持・向上させることにより、効率的な消防活動を展開するもの。	415,547
47	消防局	拡充	消防一般管理費（2目）	消防団施設の維持管理および消防団員の活動基盤整備により、有事の際における被害を抑制できる体制構築を図るもの。	73,302
48	消防局	新規	救急装備等管理事業（1目・3目）	救急隊が現場で収集した患者情報をタブレット端末から医療機関へリアルタイムで送信し、迅速かつ正確な情報伝達ができることにより、搬送時間の短縮を図るもの。	66,374
49	消防局	継続	火災予防推進事業	市民を対象とした防火講話や各種メディア等を活用した広報活動を実施することにより火災予防の啓発、市民の皆様と連携した火災予防に取り組むもの。	1,004
50			その他		107,213,200

# 令和8年度 第7次総合計画（後期基本計画）分野ごとの主な事業一覧

（単位：千円）

	担当部局	区分	事業名	概要	事業費
<b>行政経営</b>					<b>20,028,243</b>
51	企画部	継続	市史編さん事業	令和9年に市制施行125周年を迎えるにあたり、本市のこれまでの歩みを後世に伝える新たな佐世保市史を編さんするとともに、魅力ある歴史や文化、人、暮らしなどを発信するもの。	34,575
52	総務部	継続	職員研修事業	職員が主体性を持って活躍できるための研修環境の整備を行い、改革改善の担い手となる人材の育成を目指すもの。	12,649
53	総務部	継続	エンゲージメント向上事業	組織や職場の課題の改善に向けた取組を行い、職員が仕事のやりがいを感じながら活躍できる、風通しの良い、働きやすい職場環境の整備を目指すもの。	21,552
54	総務部	継続	市民コミュニティ情報システム運営費	デジタル広報ツールの分析や効果的な運用を通じて、市ホームページおよびソーシャルメディアによる情報発信を総合的に推進するもの。	16,950
55	地域未来共創部	拡充	U J I ターン推進事業	西九州させば移住サポートプラザを中心市街地へ移転し、従来の移住支援に加え、若者活躍・関係人口の活動・交流の促進を目指すもの。	6,125
56	地域未来共創部	継続	宇久地域振興経費	宇久島未来まちづくりプランに沿って関係人口増加に資する取組を実施し、人口減少が著しい本市唯一の国境離島である宇久地域の振興を目指すもの。	44,551
57	企画部	拡充	水資源確保等対策事業	黒島地区の水道整備の代替えとして小型水処理装置のレンタル事業を実施し、水道未普及地域の解消を目指すもの。	49,772
58	地域未来共創部	拡充	交通不便地区対策事業	公共ライドシェアやデマンドタクシー等の運行・導入にかかる経費を支援し、交通不便地区における住民の移動手段の確保を目指すもの。	57,553
59	地域未来共創部	継続	公共交通活性化事業	バス路線分割運行による需給バランスの調整および乗継利便性向上を図るための取組を行い、利便性・持続性・生産性の高い地域公共交通ネットワークの再構築を目指すもの。	6,383
60	地域未来共創部	継続	地方バス路線維持対策事業	市内バス路線への欠損補助をはじめ、運転士の確保やバス路線の維持を目指すもの。	113,908
61			その他		19,664,225
<b>総合計画に網羅されない事業群</b>					<b>1,002,509</b>
<b>合 計</b>					<b>260,021,027</b>

番号が丸で囲まれている事業はフリップの対象

# 令和8年度 DX戦略事業一覧

(単位：千円)

	担当部局	事業名(取組名)	概要	事業費
1	行政経営改革部	ローコード基盤	内部事務作業の効率化を図るためのローコード基盤の運用に係る経費(サービス利用料、ライセンス)	1,508
2	行政経営改革部	佐世保市版生成AI運用経費	生成AIを活用し、AIによる文書作成や政策立案のヒントを考えさせるなどして、業務効率化を図るもの。	2,183
3	市民生活部	書かない窓口の導入	市民及び職員双方の負担軽減のため、国が構築・運用支援する自治体窓口DXSaaSのサービスを導入し、書かない窓口の実現(令和8年12月稼働)を図るもの。	18,451
4	保健福祉部	生活保護タブレットシステム整備事業	訪問調査活動にタブレットを導入することで、相談等に即時対応できる体制づくりを図るとともに、書類提出の支援をタブレットで行うことで、郵送や来庁等の負担軽減に繋げるもの。	8,601
5	都市整備部	空き家推定ツール開発共同研究	包括連携協定を締結している(株)ゼンリンと連携し、適時、机上にて空き家の位置および状態を推定できるシステムを活用し、現状の把握やエリア別の戦略的な取組を検討することにより、市場流通の促進を図るもの。	1,980
6	土木部	ドローンの活用	インフラ施設や災害現場の全体像の把握や写真・動画の撮影、市民への情報発信などドローンの多目的活用を実施するもの。	869
7	都市整備部	公園管理システム	各々の施設や目的に応じて多数のファイルで管理している公園施設データ(台帳、要望、点検・修復履歴、長寿命化計画、利用申請許可、写真等)をシステムを導入し一元化することで早急な対応や業務の効率化を図るもの。	515
8	港湾部	佐世保港客船等入港予約システム	オンラインシステムによるリアルタイムでの予約状況の見える化により、クルーズ受入体制を強化するもの。	3,135
9	教育委員会	AIドリル運用経費	AIが児童生徒の学習傾向や理解度に応じて80,000問以上の問題の中から自分に合った問題を出題したり、適切なヒントを提示するなど、一人ひとりの習熟度に応じた「個別最適な学び」を支援するためのAIドリル「ミライシード」を運用するもの。	2,631
10	教育委員会	スマートロック運用経費	佐世保市立の小・中学校施設(屋内運動場など)をオンラインで予約するシステムを導入し、利用者の利便性向上を図るもの。	6,810
合 計				46,683

# 令和8年度 DX戦略リーディング事業一覧

(単位：千円)

	担当部局	事業名(取組名)	概要	事業費
1	行政経営改革部	自治体情報セキュリティクラウド	県が主体となって調達・運用を行っている長崎県セキュリティクラウドを活用したセキュリティ対策を実施することで、庁内パソコン及びネットワーク環境のセキュリティ強化の推進を図るもの	3,868
2	行政経営改革部	スマートワーク環境構築	モバイル化した一人一台により、会議室や外勤、出張先での業務を可能とし、ペーパーレス化、場所にとらわれない働き方の実現を目指すもの。	72,715
3	行政経営改革部	ICT技術活用推進経費	AIやキャッシュレス化等の技術を活用して、業務効率化・市民サービス向上を図るもの。	7,439
4	行政経営改革部	RPAやAI-OCRなどICTツールの活用	人口減少や市民ニーズの多様化に対応するため、RPAやAI-OCRなどのICTツールを活用することにより、市民サービスの向上と業務効率化による働き方改革を推進するもの。	14,218
5	農林水産部	赤潮監視対策	赤潮を早期に発見するための監視機器を設置し、漁業被害の低減を図るもの。	3,206
6	経済部	コンベンション協会業務デジタル化等ランニング	観光コンベンション協会のDX推進に向けて、業務のデジタル化を進めることにより、デジタルマーケティングの強化を図るもの。	3,208
7	経済部	最適化観光ルート情報発信事業	MaaSアプリ「STOLOCAL」を活用し、個人旅行者の様々な訴求に対応する最適な情報の提供とルート案内を図るもの。	1,481
8	土木部	道路冠水状況モニタリングシステム	監視カメラや冠水センサー及び水位計により、道路冠水の可能性がある市道においてモニタリングを行うもの。	4,568
9	土木部	道路パトロールの動画活用システム及びAI分析システム	道路パトロール用車両に設置するGPS内蔵のドライブレコーダーから取得した路面情報の動画データのAI分析を行うことで、路面の損傷状況を把握し、診断・評価を行うもの。	2,200
10	土木部	河川モニタリングシステム	大雨時に運転する排水機場を効率的に運用するため、設置した水位計でデータを蓄積し、リアルタイムで状況を把握するもの。	1,004
11	防災危機管理局	災害情報共有システム経費	災害対応時の効率的な情報把握・整理及び的確な情報発信を目指し、災害情報共有システムを運用するもの。	20,559
合 計				134,466